

不妊原因の一つ

男性不妊症

結婚して通常の夫婦生活を行って、1年間妊娠しなければ「不妊症」と定義されます。

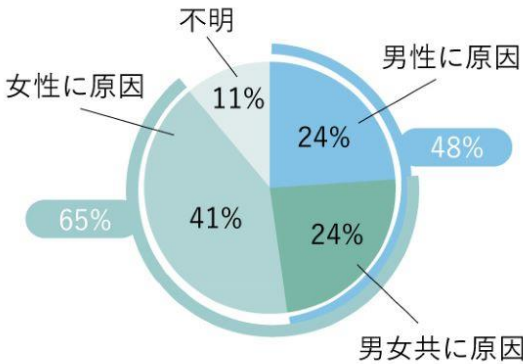
日本では結婚したカップルの約6組に1組が不妊症とされています。

不妊症と言うと女性の病気というイメージがまだ根強いですが、現在では不妊症の原因の半数近くには、男性側に要因があると考えられています。

男性要因の評価に関しては、やはり精液検査が重要になります。

不妊でお悩みの男性の方はもちろん、結婚前に精液を調べてほしいというご要望にもお答えいたします。

不妊でお悩みの際は、少しでも早くご夫婦共に検査を行い、原因究明をして治療にあたるのが、妊娠への早道です。



精液検査って？

通常の精液検査では、精液量、精子濃度、運動率、正常形態率などを調べ、WHOの正常精液の下限基準値と比較しています。1mlの精液の中に存在する精子の数を「精子濃度」といいます。その中で前進運動をしている精子の濃度を「前進運動精子濃度」と呼び、受精に最も深く関与しています。

受精能力を判定するには、運動精子濃度にスピードも考慮して、数値化したSMIを判定に使うケースも増えています。

当院では、このSMI測定するための最新の装置SQA-iOを使用して、検査を行っております。

SQA-iOでの精子の判定基準

パラメータ	結果	単位	基準値	運動性グラフ
濃度	105.0	百万/ml	≥ 16	<p>44% (44%) 32% (32%) 16% (16%) 8% (8%)</p> <ul style="list-style-type: none"> 高速前進運動率 (%) 低速前進運動率 (%) 非前進運動率 (%) 不動率 (%)
運動率	56	%	≥ 42	
前進運動率	48	%	≥ 30	
高速前進運動率	32	%		
低速前進運動率	16	%		
非前進運動率	8	%	≤ 1 ↑	
不動率	44	%	≤ 20 ↑	
正常形態率	9	%	≥ 4	
運動精子濃度*	58.9	百万/ml		
前進運動精子濃度*	49.8	百万/ml		
高速前進運動精子濃度*	33.1	百万/ml		
低速前進運動精子濃度*	16.7	百万/ml		
機能精子濃度*	10.4	百万/ml		
曲線速度 (VCL)*	45	$\mu\text{m}/\text{秒}$	≥ 5	
SMI*	266	---	≥ 80	

* MESパラメータはアスタリスク(*)で示されています

※WHOの調査では、精子の運動性や濃度は体調やストレス等により大きく変わることがわかっています。

1回目の検査で虚弱に分類されてしまった場合でも、喫煙、飲酒、睡眠不足、ストレスなどを減らして再検査を受けることで、正常値を得られることがあります。体調管理を心がけて再検査を受けることをおすすめします。